

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

R

【読む】 Reading

複眼的な視点をくれた良書たち

ビジネスマンに勤めたい 日本を知り、世界を知る本

一昨年に三菱商事の副社長を退任するまで40数年にわたり国際ビジネスの現場で働きました。世界への関心は高校時代にさかのぼります。中東研究の第一人者である三木亘先生が、私の高校で歴史を教えていました。三木先生の教え



1950年東京生まれ。75年早稲田大学法学部卒。同年三菱商事入社。サウジアラビア駐在や、メキシコの合弁企業経営などを経験。代表取締役副社長などを経て、2018年4月から現職。横浜市の教育委員も務める。

L

【率いる】 Leading

幕張新都心にキャンパスを構える神田外語大学は、1987年の開学当初からグローバル化を進めてきた。学生数は4,000人余り。英語、中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語の専攻があり、学生も教員も国際色豊かだ。2018年4月に就任した宮内孝久学長は、三菱商事時代は、サウジアラビアのリヤド駐在や、メキシコで塩田の経営などを経験。百戦錬磨の商社マンが、なぜ教育の現場に飛び込んだのか。

「きっかけは、日本の国際競争力が低下していると感じたことでした。私が商社に入社した頃に発展途上国と言われた国々は、めざましい成長を遂げ、そこで育った若者たちは国際舞台で堂々と議論を戦わせています。かたや日本の若者は元気がない。学力面も、数学や理科嫌いが増え、算数・数学のレベルは低下し、外国語を話せる人の数も諸外国に比べて少ない。加えて留学する人が減っている。その原因が教育だとしたら、国際ビジネスの現場を知る者だからできる教育があるのではないかと考えたのです」

多様な人材が集まる大学へ

神田外語大学が進めるのは、「自己肯定感」を高める教育と「自立学習」。語学を訓練して自信を育み、自信から生まれた「もっと学びたい」という好奇心を新たな挑戦ややりたい職業への意欲につなげる学習環境を整えている。「ただ、語学だけでは足りません。「言葉は世界をつなぐ平和の礎」という建学の理念にある通り、言葉を通じて世界とコミュニケーションし、共感や妥協を経験しながら人間関係を築くことに意味がある。コミュニケーションを有意義にするのは、論理性と感性です。これを磨くために、リベラルアーツ(教養)に力を入れています」

授業は少人数制を徹底。教員陣はその多くが教える言語を母語とし、個々に合った学び方の相談にも応じている。各国の建物を再現した異国情緒あふれる学習空間や、IT環境の充実など、施設・設備面でも自立学習を促す工夫が見られる。海外留学制度、国際ボランティア、リカレント教育、eラーニングなど、開かれた大学づくりにも努める。

「自分は長くビジネスをやってきたので、リアリスト的なリーダーだと思います。カリスマタイプではありません。多様な人材を集め、活発に議論できる大学組織にすることによって、愉快地学べる場を創出していきたい。縁に囲まれた明るいキャンパスで、人生をおもしろおかしく元気よく生きる術を身につけてほしいと思います」

■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、宮内孝久さんが語るリーダー論を紹介しています。
https://adv.asahi.com/ 朝日新聞 広告 検索

宮内孝久 さん

宮内孝久さんのおすすめ本棚

- 『タテ社会の人間関係』(講談社現代新書) 中根千枝・著
なぜ日本人は上下の順をつなかりを気にするのか? なぜ日本人は資格(職業など)よりも場(会社など)の共有を重視するのか? 日本の社会構造を鋭く析出。
- 『逆襲の地政学』(朝日新聞出版) ロバート・D・カプラン・著 櫻井祐子・訳
20世紀初頭にマッキンダーが提唱した「ハートランド理論」これを発展させたスライマンの「リムランド理論」に基づく地政学をベースに世界情勢を予測する。
- 『イスラムから見た「世界史」』(紀伊國屋書店) タミム・アンサーリー・著 小沢千重子・訳
西洋版の世界史の後景に追いやられてきたムスリムたちは自らの歴史をどう捉え、いかに語り伝えてきたのか。歴史への複眼的な視座を獲得するための書。
- 『獄中記』(岩波現代文庫) 佐藤優・著
微罪容疑によって逮捕、接見禁止のまま512日間拘留された著者。拘留所のカパカ的不条理の中でいかに思索を紡いでいたのか? 獄中ノート62冊の精華。
- 『服従』(河出文庫) ミシェル・ウエルベック・著 大塚桃・訳
2022年フランス大統領選。極右・国民戦線マリス・ル・ペンと穏健イスラム党党首が決選に挑む。テロと移民にあぐら国家を舞台に個人と自由の果てを描く。

の中で衝撃的だったのは、古代オリエントにおける「神との契約」という概念です。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教などに影響した概念と知り、心に残りました。三木先生には、西洋中心史観に偏った教科書に対して批判的思考を持つことの大切さも教わりました。三木先生が、社会人類学者の中根千枝さんの講演会を企画してくださり、すぐに著書の「タテ社会の人間関係」を求めま

した。インドの農村におけるフィールドワークを始め、イギリスなどでも人類学の研究を重ねた広い見識から、日本の社会集団のあり方を問う名著です。日本人は個人の特性よりも学校や会社などに所属する「場」を優先し、能力とは無関係の生年や入社年といった序列を重視する。本書がそう指摘するタテ社会の構造は今も残ります。その一方M&Aの増加など、「場」を取り巻く環境は様変わりし、新卒一括採用や年次昇格の意味は薄れつつあります。先ごろ経団連が就活ルールの廃止を発表し、これに反発する大学関係者もいますが、私は賛成です。オープンな条件の中で能力を競うたくましさが必要だと思っています。

商社の仕事を通じ、国の栄枯盛衰や紛争は、天然資源を含む地理抜きには語れないことを実感しました。グローバル化が進んでも、地理的条件は変えようのない宿命である。地政学の見地から国際関係や人間の分断を検証する「地政学の逆襲」(影のCIA)が予測する「地権の世界地図」は、私の実感を裏付ける内容でした。地図は主観的に見えてしまいがちですが、隣国や海の反対側から見ると景色が変わります。かつて日本が無謀な戦争に突き進んだのは、地政学的な分析の欠如、さらには、タテ社会の中で論理的思考ができなかったとい

語学力と教養を備えた人材育成に力を入れる神田外語大学。2018年4月に学長に就任した宮内孝久さんは、国際ビジネスの第一線で活躍した元商社マン。「国際社会はきれいごとだけではありません。人にだまされない教養と多様性とたわむれる面白さを伝えたい」との思いから、教育を志しました」

う推測もできる。本書は中根さんの著書とともに国際ビジネスマンの教材になると思います。

私の初めての出張先はパキスタンとサウジアラビアで、以後トルコ、アラブエミレーツ、インドネシア、長らくイスラム教国と関わり、サウジには湾岸戦争時に駐在していました。この間、様々な中東研究書を読んで中立的な視野を持つようになり、努めたのが、「十字軍の聖地奪還」「レコンキスタ」といった西洋寄りの言葉を無意識に受け入れ、使ってしまうこともありました。そうした自分の目を開いてくれたのが、アフガニスタン出身の著者による「イスラムから見た「世界史」」です。預言者・ムハンマドの出現に始まるイスラム教の歴史をロマンあふれる叙事詩として描きつつ、分派の変遷や非ムスリムとの対立を「共同体の理念の拡大」という視点でわかりやすく綴っています。サイクス・ピコ協定に象徴される中東の分断も冷静に書いており、イスラム教圏が抱える今日的な問題を、西洋側からは違った角度から捉える助けになりました。

「獄中記」は、元外交官の佐藤優氏が

東宮拘置所に取監された時の記録です。佐藤氏はこの512日間を機会の絶好の機会と捉え、ありとあらゆる書物を読破。常に教

条主義を拒否し、自身で思考を積み上げていく。その精神力と探究心に圧倒されました。自身の言う「国策捜査」に巻き込まれたながらも、国家とは何か、愛国心とは何か、ナショナリズムとは何かを情熱を排して見つけ、国益を考へる姿勢には尊敬の念を抱きます。若い人たちは、彼のような異能の存在を知るだけでも価値があると思います。

ミシェル・ウエルベックの『服従』は、主人公であるノンボリの大学教授が、ファシストのル・ベンに勝利したイスラム政権に服従していくさまを描いた架空小説です。フランスの現実社会で、ベンが支持を伸ばし、欧州に移民が押し寄せている時期に発表され、話題となりました。荒唐無稽なようで、イスラムへの恐怖心や男性優位社会への憧憬といった欧州人の潜在的な思いが背景にある気がして、リアルさが感じられる物語でした。

私はアラブ諸国の人々と公私にわたって心の交流を育み、家族も彼らが大好きになりました。イスラム教徒の人口はほとんど世界人口の4分の1を占めると言われています。はつきりしているのは、日本人は世界のマイノリティであり、タテ社会が残る異質な文化圏の住人だということです。学生たちにその自覚を与え、複眼的に世界を見ることの大切さを伝えていきたいと思っています。(談)

完全予約販売

全国高等学校野球選手権大会 100回史

夏の甲子園大会全記録を網羅
100年に及ぶ全取材から3000枚以上の写真を厳選!

朝日新聞創刊140周年記念として、公式豪華本を刊行します。

12月15日 予約締切 迫る!

第1回からの詳細を掲載。資料としても貴重。

編者: 朝日新聞社 監修: 日本高等学校野球連盟 発行・販売: 朝日新聞出版

■定価16,200円(税込・分売不可)
体裁: A4判上製・上下巻・函入り(天地布製) カラー4色・上巻96頁、下巻64頁/総頁数1600頁超(予定)
上巻: 甲子園編 下巻: 都道府県編 978-4-02-258697-1

2019年3月中旬刊行予定 予約締切 12月15日

これを逃すと二度と手に入らない! 予約販売

朝日新聞出版 すべての人に、価値ある一冊を

https://publications.asahi.com/k100/

天才はあきらめた

読者からの感動の声、続々!!

純粋に心打たれて自分も頑張ろうと思える良書。(30代 男性)
涙が出てしまい電車で読むのが大変だった。(30代 女性)
ただの自叙伝ではない。努力の教科書。(30代 女性)

嫉妬、くやしさを、劣等感...
すべてがガリんに変えてやる!

テレビで紹介され、話題沸騰!!

10万部突破!!

大反響

赤裸々すぎると賛否両論です

山里亮太 あきらめた

定価670円(税込) 978-4-02-261936-5 40th 朝日文庫

朝日新聞出版 すべての人に、価値ある一冊を お求めは書店、ASA(朝日新聞販売所)、ウェブサイトです。